



The Japanese School of Melbourne

# メルボルン日本人学校だより

平成27年度  
11月号  
H27.11.2



## 共に全てに真剣勝負～第30回運動会～

校長 上野 祐美子

若葉が鮮やかな季節となりました。気温が30度を超える日も出てきましたが、外は暑くても、校舎内は「冷房が効いているのかな？」と思うほどひんやりしていることもあり、煉瓦校舎のよさをあらためて感じています。

さて、10月25日(日)に実施した第30回運動会。児童生徒会で決めたスローガン「イドム！共に全てに真剣勝負」のとおり、子ども達は競技、表現、応援にと力いっぱいがんばりました。また、中学年以上は、係の仕事の役割も果たし、運動会という大きな行事をしっかりと支えてくれました。「真剣に取り組む姿、真剣に挑む姿というのは、見ている人の心を動かします。」という話を開会式でしましたが、最後まで力を抜かず走る姿、小学部の笑顔で踊る姿、中学部のきりりと引き締まった顔で表現する姿などに何度も胸を打たれました。一つの大きな行事を終え、また一つ心身ともに成長したように感じました。

応援については、団をまとめてくれた応援団長、団長をしっかりとサポートした副団長、応援を盛り上げた応援団のメンバー、それぞれ心を合わせてがんばりました。白組が4年連続優勝し、紅組の雪辱は果たせませんでした。解団式では、どちらの組もすがすがしい、そして、やり切ったという表情が窺えました。敗れた紅組ですが、玉入れでの団長の投げた金色の玉がネットに吸い込まれた瞬間は優勝したかのような喜びようでした。

ブレップや今年の運動会以降の転入生にとっては初めての運動会。G9や帰国などこれから転出する子ども達にとっては最後の運動会。それぞれ心に残る運動会になったことだと思います。

保護者の皆様には、昼前からの強風、そして、午後からの暑い日射しの中、最後まで温かいご声援をいただきありがとうございます。今年はテントが吹き飛ばされそうなほどの強風がなかなかおさまらず、親子競技「大玉ころがし」をやむなく中止したり、テントを自粛いただいたりしました。「大玉ころがし」は子ども達も保護者の方も楽しみにしていただいていたので、実施できなかったことはとても残念です。安全面を最優先に考えた結果ということでご理解いただければと思っております。「運命走」では、いつ出番が来るかもわからない中、スタンバイしていただいている様子がとても微笑ましく感じました。ご協力ありがとうございました。



## 職場訪問学習

中学部は5日に職場訪問学習を実施します。今年には総領事館、アサヒホールディングス、ジャノメ、トヨタ自動車、雪印の各社にご協力いただき、3名ずつが各社を訪問します。事前学習として職場訪問の目的や意義、電話でのポイントメントの取り方、マナーなどを学んだり、訪問先の情報やトラムやバスでの目的地までの行き方などを調べたりしてきました。電話のかけ方や訪問の仕方などもシミュレーションを繰り返しました。各社の貴重な時間をいただいている訪問学習です。有意義なものになることを期待しています。

## 読書をしよう！★読書週間★

先月号でもお知らせしましたが、日本では10/27～11/9まで「読書週間」です。今年の図書館の貸出し冊数は昨年度に比べてかなり増えています。さまざまなジャンルの本に親しんでほしいと思っています。ところで、図書室では、蔵書整理の坂口さんが児童生徒・教職員のお薦め本をコーディネートして下さっています。そこで保護者のお薦め本も募集していますので学校の図書室にある本でお薦めがあれば、ぜひ水曜日か金曜日に図書室にお立ち寄りください。